

■断面計画について

○周辺住宅地や広場への圧迫感の低減について

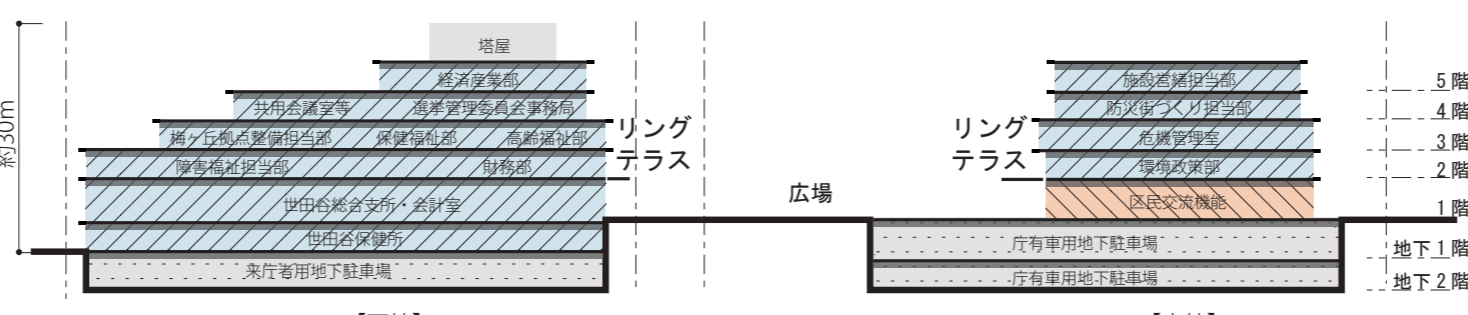
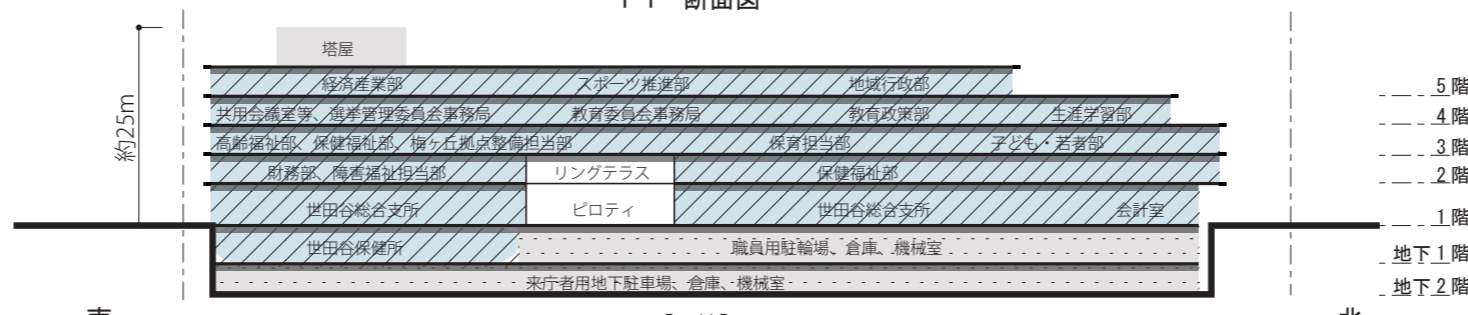
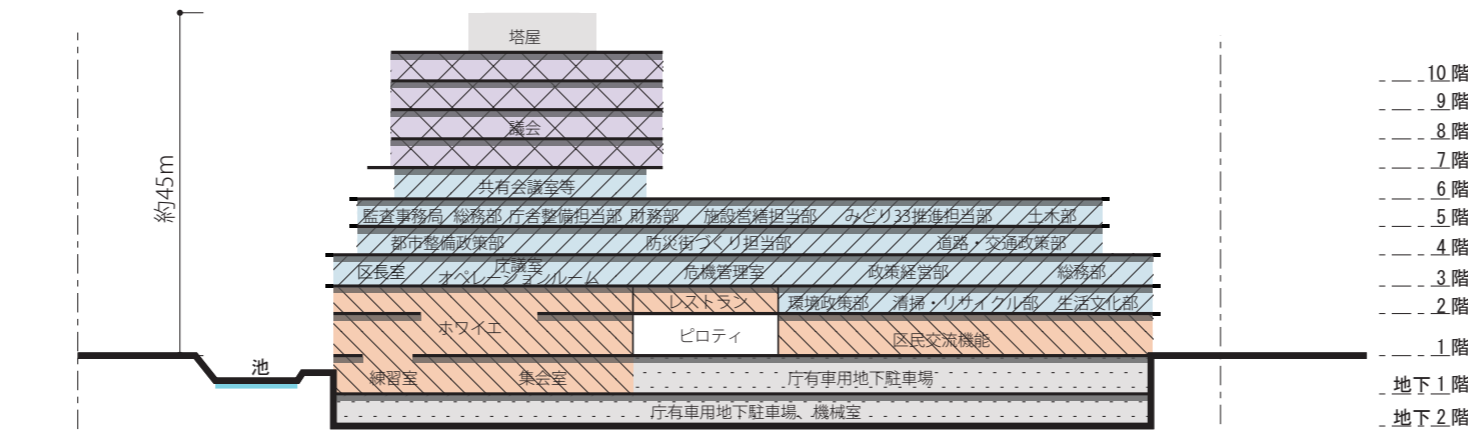
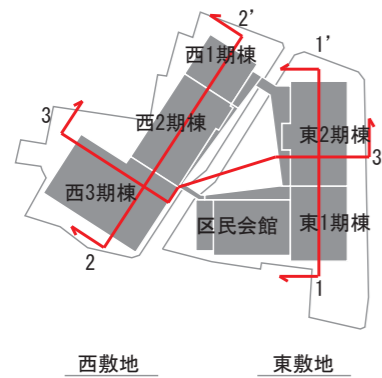
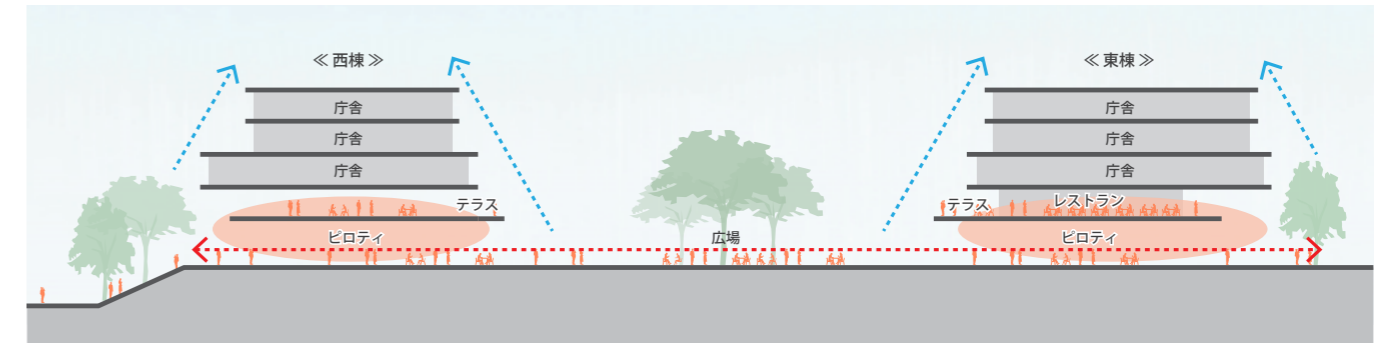
- ・西棟の北側及び西側、東1期棟の南側は、日影の影響や圧迫感等を考慮し、4階以上の建物を後退させ、周辺の住宅地に配慮します。
- ・西3期棟の西側は、日影の影響や圧迫感等を考慮し、3階以上の建物を後退させ、周辺の住宅地に配慮します。
- ・高層部分(10階建て)を設けることで、広場に面した建物ボリュームを東西5階に抑え、広場への圧迫感を極力抑えた計画とします。
- ・広場側はすり鉢状の断面形状となり、青空を感じやすい計画とします。

○広場と連続するピロティ空間

- ・広場へと連続するピロティ空間を踏襲し、東西棟にピロティを設け、東側だけでなく、敷地西側からも直接広場へアクセスできる計画とします。

○施設機能の断面構成

- ・1~2階の低層階に、区民交流機能やレストラン、総合支所等を配置し、来庁者が訪れやすく利用しやすい計画とします。
- ・7~10階の高層部分には、議会部門を配置し、独立性とセキュリティを確保します。



※基準階高：約3.8m

凡例

■	共用部
■	議会機能
■	災害対策機能
■	行政機能 (事務室・会議室・更衣室など)
■	区民機能
■	駐車場、機械室 等

